

第29回 近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 研究・実践発表申込要領

発表資格	<p>公益社団法人日本社会福祉士会に属する都道府県社会福祉士会会員に限ります。 会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはできませんが、発表者は会員に限ります。 <u>※研究・実践発表採用者は、近畿ブロック研究・研修和歌山大会の参加申込が必要です。</u></p>
申込数	<p>一人一発表です。</p>
申込様式	<p>以下の①～③様式を揃えて提出してください。 ① 研究・実践発表申込書（1） ② 研究・実践発表申込書（2） ③ 研究・実践発表原稿（A4・2枚） ※申込様式は、和歌山県社会福祉士会ホームページからダウンロードしてください。 http://wacsw.com/</p>
申込先	<p>〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 和歌山ビッグ愛6階 一般社団法人和歌山県社会福祉士会 第29回 近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 事務局 E-mail info@wacsw.com ※郵送・E-mailでお申し込みください ※E-mailは必ず受取の返信を確認してください。</p>
締切	<p>2021年10月22日（金）必着</p>
発表原稿作成上の注意	<p>発表原稿作成時の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 提出された原稿はそのまま版下として印刷しますので、必ずワードで作成した鮮明なものをお送りください。 2 原稿はA4版横書き、2枚で作成して下さい。 3 文体は「である調」で作成して下さい。 4 謝辞は、不要です。 5 字数等は自由としますが、印刷の都合上、<u>上下左右の余白を25ミリ以上空けてください。</u> 6 共同研究者が都道府県社会福祉士会の会員の場合は、氏名、会員番号、所属する都道府県士会名を記載して下さい。会員外の場合は、氏名と所属先名称を記載して下さい。役職名の記載は不要です。 7 「倫理的配慮」は必ず明記して下さい。

	<p>その他</p> <p>8 査読の結果、修正をお願いすることもありますので、ご了承ください。</p> <p>9 原稿などは、一切返却できません。</p> <p>10 発表は、発表動画（15分）を準備していただきます。撮影については、各県士会にてとなります。詳細については、発表者決定後、お知らせいたします。資料はPC画面に表示できるもので作成ください。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">審査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込数・内容等を勘案・審査した上、採否を決定し、締切日以降、申込者に個別に通知する予定です。なお、選考にあたり査読委員会による査読があります。 ・ 採用にあたっては、実践にもとづく発表を優先することがあります。 ・ 内容等については、大会実行委員会が助言する場合があります。 ・ 採用数が定数に満たない場合、追加募集をすることがあります。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">採用</p>	<p>採用数：9 発表程度</p> <hr/> <p>採用通知期日：2021年11月上旬</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発表撮影</p>	<p>動画配信のため、事前に発表を撮影します。 撮影方法については、採用者へご案内します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影時期：撮影は採用通知後～12月20日（月）の期間で調整します。 （スケジュールがタイトなので発表資料などはあらかじめご準備されることをお勧めします。） ● 発表時間：15分（配信時には査読委員からの講評2分程度を加えます）
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">レジュメ（発表原稿）※必須</p>	<p>採用された方は、修正コメントに基づいてレジュメ（発表原稿）を修正してください。提出されたレジュメはそのまま版下（視聴者用ダウンロード資料）として使用しますので、必ずワードで作成した鮮明な原稿を提出してください。</p> <p>※申し込まれた発表について、査読者からのコメント、修正が求められる場合がありますが、その場合、各府県士会にて修正の相談に乗ってもらえる人を用意します。自分一人で修正がうまくできない場合は各府県士会事務局に問い合わせして下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 提出先：第29回 近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 事務局 （申込時に提出済みの「研究・実践発表申込書(1)(2)の再度の提出は不要」 ● 提出期日：2021年12月20日（月） 必着 <p>※期日までに提出のない場合、採用を取り消し、発表を認めないことがあります。</p>

<p>発表資料 ※任意</p>	<p>レジュメとは別に発表時に表示したい資料（パワーポイントスライド等）があれば、PC画面に表示できるもので作成してください。</p> <p>※配信動画でも表示するので、データの送付をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●提出先：第29回 近畿ブロック研究・研修 和歌山大会 事務局 ●提出期日：2021年12月20日(月) 必着 ●提出方法：データ容量が10MB以下であればメール添付等オンラインで提出可。 それ以上の容量がある場合はCD-ROMで郵送してください。
<p>その他</p>	<p>※申込者の個人情報の取り扱いについて 申込時に記入いただいた個人情報は、大会運営に必要な範囲において使用します。 また、発表者氏名、所属（都道府県）、発表テーマについては大会参加者の便宜のため、和歌山県社会福祉士会ホームページ等で公開します。</p> <p>※本大会発表については、例年の発表とは異なります。オンライン配信形式を取るため、あらかじめ発表を録画したものとなります。</p>

わたしは、研究・実践発表申込書に記載の通り研究・実践発表原稿を作成し、申し込みます。

西暦 年 月 日作成

ふりがな 氏名	所属する都道府県社会福祉士会名
	会員番号：
所属先名称	職種または役職
連絡先（自宅・勤務先）※どちらかに○をつけてください。	
〒 住所：	連絡先 TEL： 携 帯 TEL： メールアドレス：
<p>近畿ブロック大会 研究・実践発表申込 自己チェックリスト</p> <p>※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。 （チェックがないものについては申込を受け付けられませんので、ご了承ください）</p> <p>倫 理</p> <p><input type="checkbox"/> 1 対象者の安全および人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮ができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮ができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 3 対象者に行った倫理的配慮を明記しています。</p> <p>構 成</p> <p><input type="checkbox"/> 1 原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル（任意）、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・会員番号、共同研究者の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 本文は、研究目的、研究方法、論理的配慮、結果、考察、結論を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成してある。</p> <p>研究・実践発表原稿記載様式</p> <p><input type="checkbox"/> 1 原稿は A4 版横書き、2 枚で作成されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 ワードで作成させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3 発表者氏名の前に「○」をつけてある。</p> <p><input type="checkbox"/> 4 余白は、上下左右を 25 ミリ以上としている。</p> <p><input type="checkbox"/> 5 文体は「である調」で作成されている。</p> <p>レジュメ以外の発表資料の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p>	

氏名：

会員番号：

研究方法： 文献研究 実証研究 量的研究 質的研究 実践研究
※研究方法について上記から該当するものを選び、チェックしてください。（複数可）

発表テーマ

発表する研究・実践分野（一つ選択）

権利擁護 生活構造 相談援助 地域支援 福祉経営 実践研究

同様のテーマでの発表履歴

無 ・ 有→以下記入

①発表年月

②大会名など

③タイトル

※発表者名は記入しない。

共同研究者

無 ・ 有→以下記入

共同研究者人数（ ）名 ※共同研究者氏名は記入しない。

大会実行委員会への連絡および問い合わせ事項

無 ・ 有→内容記入

※枠内には、発表者氏名および共同研究者氏名を記入しないでください。

- ・《 》の箇所には《 》内の内容を記述した後、《 》内および《 》そのものを削除
- ・（ ）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（ ）そのものを残す。
- ・本文は、明朝体細字で記載する。

《タイトル：ゴシック体》

《～サブタイトル(任意)：ゴシック体》

《一行空き》

○《発表者の氏名》（所属先）《都道府県名》社会福祉士会（会員番号）

《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）

I. 研究目的

《この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述》

II. 研究方法

《「I. 研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述》

III. 倫理的配慮

《必ず明記する》

IV. 結果

《調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述》

V. 考察

《「IV. 結果」（または、支援経過）を受けて、なぜそのような調査研究結果になったのかの考察を記述》

VI. 結論

参考文献：

※A4 版横書き・2 枚で、おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫して作成して下さい。